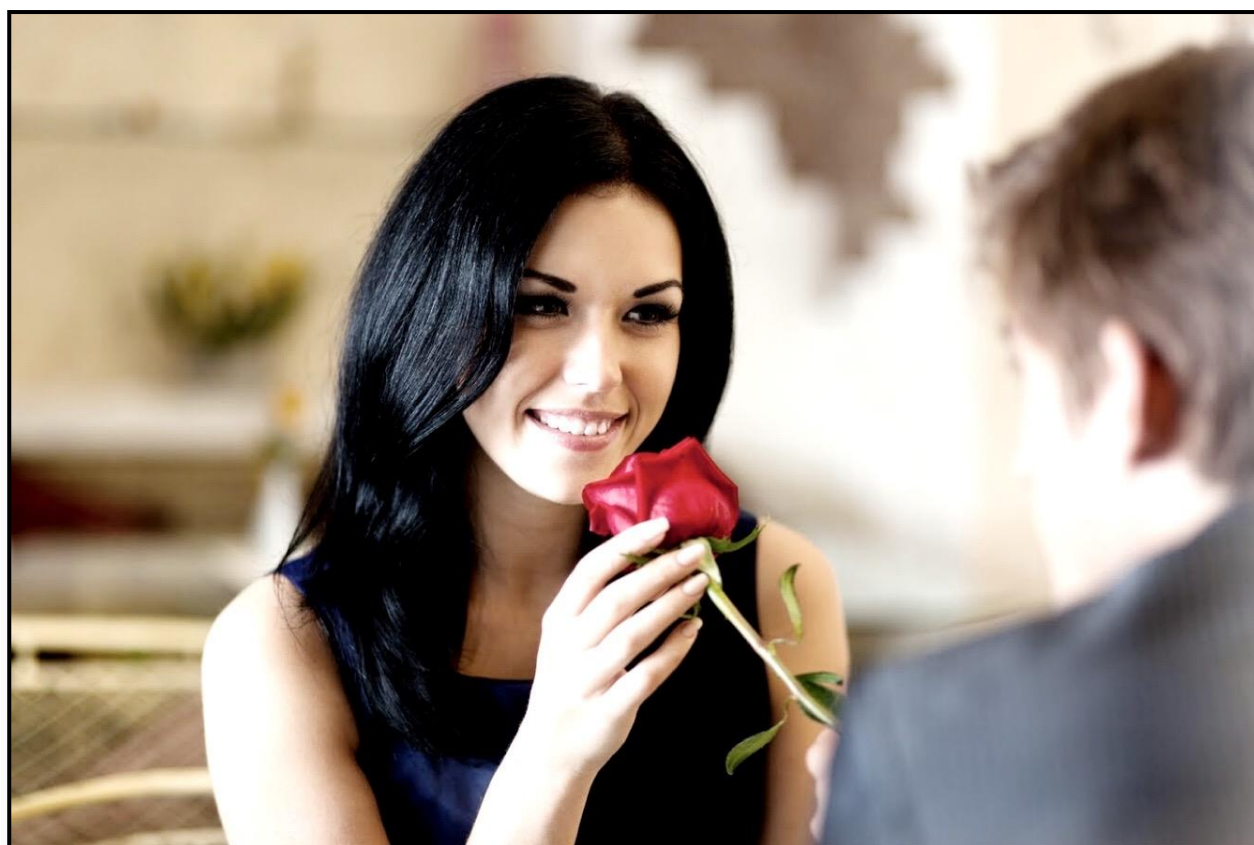

Winning The Hearts

～マインド編～

第1話：NG 男性のマインド



はじめに・・・

高橋りょうです。

これからあなたにお届けするレポートでは、例えば、
あなたが普段行くカフェや、ショップなどで、可愛い
店員さん、美人店員さんがいた時、仮に、

「**お友達**になってください」

とあなたが言えば、快く

「**YES**」

と言われるような、

魅力的な男性になるための有効なアプローチ方法について話していきます。

一応、ターゲットは「美人ショップ店員」として設定しますが、「魅力的な男になる」というのが、この企画の一番のテーマですから、

ショップ店員以外の女性との出会いや、会話のシチュエーションなども取り扱いながら、話を進めていきます。

まずはその前提で、話を読み進めてください。

...

さて、話を戻しますね。

この時の「お友達」とは、

恋愛対象としても申し分ないようなポジションも
含んでいます。

その美人女性に、彼氏がいがいが、
その付き合っている彼よりも、あなたの方に
魅力を感じてしまったら...

女性はあなたのことを、
決して無視できなくなります。

誰もが二度見するような、美しい女性から、そんな羨
望の眼差しを浴びたら...

リアルに想像してみてください。

...

...

めっちゃ嬉しくないですか？

僕は、そう思います。

誰もが美女と認める美しい女性から、「魅力的な男」として認められる、という気持ち良さがあるわけですからね。今まで、ずっと渴き続けていた何かが、一気に潤うような心地よさがあると思います。

それに伴い、自信も各段に向上します。すると、、、

女性が怖くなくなります。

これまでは、美人を見かける度に、

- 自分は相手に、ものすごく魅力を感じているのに、、、
- 相手は自分に、魅力など微塵も感じていない。。。

そんなお互いの温度差から来る惨めさに、心を痛めていたのが、今度は逆に、自分好みの美女から、羨望の眼差しを浴びるようになる。この時、自分を見るその女性は、瞳が揺れているような、ウルウルした目をしています。

これを見た時、自分の男としての自信がものすごく高まります。

「俺は、美女に**モテる**男だ。」

確かな手応えが伴ったセルフイメージが、
自分に宿るためです。

そしてその自信は、普段、あなたが属している会社や、その他のコミュニティでも、ものすごく生きるものになります。だからこそ、取り組む価値は、十二分にあると、僕は確信を持ってあなたにお伝えします。

...

今回、あなたに魅力を感じさせる女性を、「ショップ店員」に的を絞ったのは、そうした女性とは、積極的に関わりやすいから、です。

- ✓ 商品について質問する時
- ✓ メニューを注文する時
- ✓ お会計を済ませる時

合法的な理由をつけて、その女性との関わりが持てます。その出会いを楽しむことができるわけですね。普通だったら、美しい女性との出会いを作るためには、

真っ先に

ナンパ

が思い浮かぶと思いますが、そうした街を歩く美しい女性に、「用もなく声をかける」というのは、明らかに不自然な行為だと思います。しかし、ショップ店員の場合は、上記のような言葉を交わす機会があるわけですから、最初のハードルは、随分と低いものになります。後は、自分自身を、相手にどう印象を埋め込むかで、勝敗が決まります。

「勝ち負け」と表現しましたが、敗者とは、

ただのお客さん。それ以上は何もない。

こんな人を指します。割合で言えば、全体のうちの

99%が、こちら側にカテゴライズされます。彼らは、仮に自分好みの美人店員がいても、緊張して何も言えなかったり、逆に、ズカズカと自己アピールをして、女性に不快な思いをさせて、煙たがられています。

しかし、残り 1%の魅力的な男性は、彼女たちのハートを上手〜く掴んでいます。結果、その美女にとって「とても気になる存在」として、カテゴライズされています。

...

これを読んで、あなたは真っ先に、

「それは、その男性が
イケメンだからでしょ？」

と思ったかもしれません。

でも、安心してください。

確かに、イケメンと言われるような、顔立ちが整った男性は、出会った最初の頃は「気になる存在」として意識されやすいですが、しかし、それも最初だけです。

実は女性は、男性の顔の作りの良し悪しだけで、男性を判断していません。これについては、後で説明していきますね。

...

さて、前置きはこのぐらいにして、そろそろ本編へ入っていこうと思います。第1話であるこのレポートで話すことは、**マインド**（＝考え方）についてです。

先ほど、99%のモテない男と、1%の魅力的な男という話をしましたが、この両者を分ける一番の分岐点は、**マインド**にあります。

- ◆マインドが整っていない男性が、美人ショップ店員から、冷たくあしらわれ、
- ◆マインドが整っている男性が、いつも気になる異性として意識される男性です。

その違いは何なのか？

それについて、今回は話していきます。

...

今回は第1話ですが、のっけから、かなり核心的な話をしていきます。今回の内容を腑に落としてもらうだ

けでも、あなたの人生に大きな変化が訪れる可能性は、
十分にあると思います。要は、

**このマインドだから、
女性に振り向かれない**

ということを、ズバッと話していきます。

**それさえ気を付ければ、
あなたも魅力的な男の仲間入り**

そんな興味深い話をします。

...

さて、準備はいいですか？

では、行きます。

§ **NG** なお客のマインド

特徴 1 0 選

ここでは、誰もが「美人」だと認める女性ショップ店員に、このマインドでいたら嫌われる、という【NG マインド 特徴 1 0 選】をご紹介します。これは、モテない 99%の男たちの考え方です。反面教師にして、あなたの血肉に変えてください。

特徴 1 . 好きな女性店員にしか、 興味を示さない

モテない男の、最大の特徴です。

他にもショップ店員はいるのに（男女問わず）、お目当ての女性ショップ店員だけにしか、意識が向いていない状況です。これはつまり、

視野が狭くなっている状況

だと言えます。

なぜ、これがいけないのか？

そもそも男性は、見た目が魅力的で、恋愛対象の女性の前では、冷静な判断ができなくなります。その理由は、男性は生物学的に、

「見た目が美しい女性に、自分の種を植え付けよ」

というメッセージが、DNA レベルで深〜く刻まれていて、美しい女性を見た瞬間、人間的な理性から、動物的な本能に切り替わるから、です。つまり、「性欲」です。実際に、やる、やらないは別として、

「セックスしたい！」

と、その女性に対して本能的に強く思います。すると、人間らしさを司る理性脳は抑圧され、動物的な原始脳が優位な状態となるため、冷静な判断ができなくなるのです。つまり、思考力がガクンと下がり、それが「緊張」を引き起こして何も言えなくなったり、あるいは

バカな言動や行動を取る、という形で悪さをします。

これが、99%の美女にモテない男の思考パターンです。

しかし、1%のモテる魅力的な男性は、魅力的な女性を見て、一瞬、思考力が下がりかけますが、そこからの
“持ち直しのスキル”を発動させます。そのスキルは多種多様ですが、実は、全てに共通したことがあります。それが、自分の興味関心の対象を、

好きな女性だけではなく、 他の女性にも意図的に向ける

という、**分散スキル**です。

これにより、思考力の低下を防ぎます。

この行為は、明らかに「性欲」という本能に逆らう行

為です。しかし、この流れに逆らう強さが、女性にとっては、結果的に魅力的に映ることに繋がります。その強さを獲得する方法は、また後日お伝えしますね。さらにそこから、こういった原理で、美女に魅力を感じさせるのか？も、説明していきます。

ここで覚えておいて欲しいことは、

➤ **99%のモテない男は、**

本能に流される弱い男

➤ **1%の魅力的な男は、**

本能に逆らう強さを持った男

ということです。これが、
全てを決定づける、大元の原理原則となります。

特徴 2.

かわいいね、と

簡単に言ってしまう

これも、99%のモテない男と、1%の魅力的な男の、決定的な違いです。10人中、10人の男性が、

✓ かわいい

✓ 美人

と評価する美女に、「かわいいね」とか「美人ですね」なんて褒め言葉を言うのは、「思ったことを、そのまま言う」という点においては、本能に流されているだけ、です。

「でも、それは女性を褒めているから、

悪いことではないのでは？」

良い質問ですね。

でも、よく考えてみてください。

彼女たちは、美人であるが故に、多くの男性たちから、日々、そうした褒め言葉を言われ続けています。モテない男の人数は、魅力的な男の 99 倍ですからね。必然的に、そうなるわけです。すると、どうなると思いますか？

...

「はいはい、分かったわかった。」

「そんなことを言って、私が喜ぶとでも思ってるの？」

「この人も、他の男たちと変わらないのね。」

声に出しませんが、
心の中ではそう思うようになります。

「クソ生意気な女ども…っ！」

と思うかもしれませんが、堪えてください。大切な
のは、「美女」である彼女たちを理解することです。理
解することから、良好な人間関係を築くことができます。
す。

...

女性はそもそも、美しくなり、男性からそう評価され
ることに価値を感じる生き物です。

しかし美女の場合、その欲が過剰に満たされ続けているが故に、見た目を褒められることにウンザリしています。だから、さっきのような反応になるんですね。

この感覚は、他の場合で当てはめて考えてみると、分かりやすいと思います。

例えば、あなたは今、2 日間何も食べていない空腹状態だとしますね。

そこに、「これでもか！」というぐらいの御馳走が並べられれば、食欲が刺激され、「食いたい」という思いで、頭がいっぱいになると思います。

しかしこの時、
あなたはすでに別の御馳走を食べ終えた後で、
満腹だったとしたら？

...

御馳走を並べられても、
「もう、いいです…」となるハズです。

要は、美人女性に「美人ですね」「かわいいですね」と褒めることは、満腹の人に、さらに御馳走を差し出すことと同じ、だということです。こうして考えると、いかに、彼女たちをゲンナリさせることをしているのかが、分かりますね？

だから、美女に

「かわいいですね」

「美人ですね」

なんてことは、言わないでください。興ざめさせるだけですからね。

特徴 3 . 好意を伝えたら、 返してくれると信じている

たぶん、このように信じてしまったのは

「告白されて、気になるようになった…」

という恋愛エピソードに触れる機会が多かったからではないか？と思います。

よく、ドラマや漫画でも、そういった展開がありますよね。「お前のことが、好きだ！」と伝えた男子に対し、「え…そうだったの？♡」と、心の中でときめく女子。

しかし、これには、絶対に外せない前提条件があるの

です。それが

“その女子が、
もともとその男子に、
「魅力」を感じていた”

というものです。

つまり、告白は、
好きになる「きっかけ」に過ぎなかったのです。

...

もし、あなたが狙っている美女が、あなたに

- ✓ 魅力を感じている
- ✓ どこか気になる存在として見ている

という前提があれば、心理学で言うところの「好意の返報性」が働き、「好き」を返してくれる可能性が高いですが、そうでない場合、

逆効果なんですね。

少し考えてみてください。

もし、あなたの好みの女性が、

- ◆キレイな茶色に染まった艶やかな髪をしていて
- ◆そんな髪を長く伸ばしていて
- ◆スタイルはスラっとしていて
- ◆笑顔を見せてくれた時の顔が可愛い

そんな女性だとしたら、あなたが望むのは、そんな女性からの「愛の告白」ですよ？

ところが、髪はゴワゴワのタワシヘアで、お世辞にもオシャレとは言えないおかっぱ頭で、ブテっとスタイルは崩れていて、あまり笑わない。そんな根暗なイメージのある女性から、愛の告白の言葉が綴られた手紙を渡されたら、、、

あなたはどう返しますか？

間違っても、

「ありがとう！ 僕もあなたが好きです」

…とはならないハズです。

女性経験を積む、という意味で、その女性と付き合う選択をする人もいるかもしれませんが、基本的に、「好意」を伝えられて、「好意」で返す、なんてことにはならないと思います。

ですから、「告白」が彼女を喜ばせる、と単純に理解しないで下さい。

好意を伝えるのは、

- ✓ あなたに**男としての魅力**が十分にあり
- ✓ 女性もその魅力を感じている

それから、です。

好きな女性ができた時、告白云々を考える男性がとても多いのですが、そうではありません。まずは、好きになった女性に、**魅力を感じさせるだけの実力**を身につけることを、最優先しましょう。

特徴 4 . 通い続けていれば、 いつか好きになってくれる、 と思っている

ショップ店員にアプローチした場合に限った話ですが、
基本的に、特徴 3 と同種です。

何が同種なのか？というと、要は、

“自分の魅力を**高める**”

という視点が、ゴッソリ抜け落ちたことによる発想だ
ということです。

心理学で、「単純接触効果」という言葉があります。何

気ない単純な接触の数を重ねれば重ねるほど、相手と仲良くなる、という原理ですが、これも「魅力ありき」の話です。

積み重ねは、プラス方向にも、マイナス方向にも働きます。

あなたに魅力がなければ、何もプラスの積み重ねが起きません。下手をすれば、「ウザい人」にカテゴライズされ、煙たがられる可能性があります。ここは、気をつけなければいけません。

「先ほどから、魅力、魅力と話していますが、
では魅力とは一体なに？」

と、疑問に思うと思います。

ここでハッキリさせておきますね。

僕が考える魅力とは、

- ①マインド
- ②見た目
- ③対人コミュニケーション

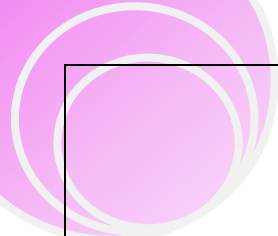
この3つの要素が、それぞれある一定レベル以上にある状態のことです。だから、もしあなたに好きな女性が出来たときは、

“何をすれば好きになってもらえるか？”

を考えるのではなく、

“どうすれば、**3つの要素**のレベルを上げることができるのか？”

というふうに、考え方をシフトしてください。



Winning The hearts Contents

(※それらの方法は、後日お届けするレポートで、詳しく話していきます。今は、「①マインド」についての話をしています。)

特徴 5. 好きな女性店員の前では、 好きすぎてぎこちなくなる

ぎこちなさの代表格として、

- ✓ 言葉がカミカミ & 早口で余裕がない
- ✓ 身振り手振りが、やたらはやい
- ✓ 瞬きがはやかったり、目がキョロキョロしている

こういったものが挙げられると思います。これは、女性を不安にさせます。好きな女性店員を目の前にして、緊張したり、頭が真っ白になる気持ちは分かります。が、こうした落ち着きのなさは、女性から見て、全く魅力的ではありません。

もし、あなたに心当たりがあれば、まずは落ち着いてコミュニケーションが取れるようになることを、目標にしてください。緊張や、頭が真っ白になるのは、大抵は、「よく見られたい」という気持ちが先行しているためです。相手の女性のことを見ているようで、実は自分のことだけしか見ていないんですね。だから、

視点を自分から相手に移す。

相手の女性は、接客をしているわけですから、「接客しやすいお客」になることを、一つの目標にすると、上手いきやすいです。難しく考える必要はありません。有効な解決策は、好きな女性店員ではない、緊張しない店員さんに接客されているときのことを思い出すことです。その時、自分は、

- ✓ どんな受け答えをしているか？
- ✓ 間のあけ方は？
- ✓ どんなふうに商品を受け取っているか？

これらはある種の成功体験ですから（緊張しない、という点で）、それらを好きな女性店員の前でも、再現すればいいのです。思い出せないのであれば、緊張しない店員さんに接客を受けている時に、意識的に自分で自分を観察してみると良いと思います。

接客しやすいお客さんは、必ず好感が持たれます。まずは、そこを目指しましょう。

特徴 6 . 何かをプレゼントすれば、 好きになってもらえる と思っている

「〇〇さん、喜ぶと思って、これ買って来ましたよ！」

「ありがとうございます（苦笑）」

...

好きな女性を振り向かせるために、プレゼントする思考になる男性は多いです。しかし、そのほとんどが、迷惑だということを知っておくべきです。

ショップ店員の場合、お客からプレゼントを貰っては

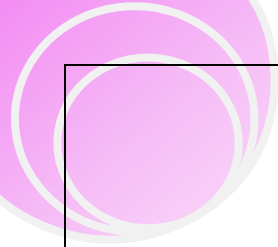
いけない、という決まりがある場合が多いです。例えば、スターバックスでは、そうした決まりがあるようですね。

ショップ店員以外の女性にアプローチする場合を考えてみても、相手の好みも調べずに、ましてや高額な何かをプレゼントする、なんていうのは、リスク以外のなんでもありません。

“**いらないものを渡されても、相手は困る。**”

要は、そういうことです。モテない男は、相手の立場に立って考えない特徴があります。そういったところを、細かく意識するようにしましょう。

もし渡すなら、



Winning The hearts Contents

1. 相手の好みに寄り添っているか？
2. 受け取っても重い気持ちにならないか？

この2点に対して考慮し、

「YES」と心の底から言えると判断してから、です。

特徴 7.

俺は顔が良くないから…、 とふて腐れている

このレポートの冒頭で、少し触れましたが、女性は男性と違って、顔だけで異性を選びません。見た目に限った話ですが、女性が重視しているのは、顔の作りそのものよりも、雰囲気イケメンかどうか？です。

つまり、

✓ 服装

✓ 髪型

✓ 匂い

...

そうした見た目を構成する要素が、全てある一定レベル以上かどうかを見ています。そういった部分は、後付け的に、努力によって満たしていくことができるものなので、女性の視点に立った場合、あまり気にする必要はないことが分かります。

それでも、ふて腐れている男性というのは、いるものです。

なぜ、このマインドになってしまうのか？

その理由は、人が持つ本能にあります。

それは、

**“自分が相手に対するモノの見方は、
相手が自分に対するモノの見方である”**

ということです。つまり、

“自分と相手は、
同じモノの見方をする”

という幻想ですね。

僕たち男は、女性のどの部分を見て評価するのか？

それは、

- ✓ 顔の良し悪し
- ✓ 胸のふくらみ
- ✓ ウエストの細さ
- ✓ お尻の形
- ✓ 足の細さ

Etc

ですね？

つまり、「見た目の良さ」です。

だから、一目惚れしやすいのも、女性よりも男性です。
出会って、たったの数秒の間に、性的魅力があるかどうかを見極め、「あり or なし」を判断しています。こうした、見た目だけで判断するのは、男性特有の視点だと言って良いでしょう。

つまりは、こうです。

男性は、「瞬間湯沸かし器」である、と。(笑)

一気に沸点に達します。

この在り方は、女性が男性を見る時であっても、同じだと、モテない男は思い込んでいるのです。つまり、顔の良し悪しで、男を選んでいる、と。

本能とは、デフォルトと考えることができます。つまり、何も努力していないモノの見方をしている、ということですね。

モテない男は、努力していません。本能のままに、流されています。一方、モテる魅力的な男は、本能に流されない強さを持っています。自分のデフォルトのモノの見方に、修正を加えて、より正しいモノの見方に変えています。そのために、女性を理解する努力は怠りません。

例えば、、

女性はイケメンには目がありません。キャーキャー黄色の声援が送られているのは、決まってイケメンです。

…しかし。

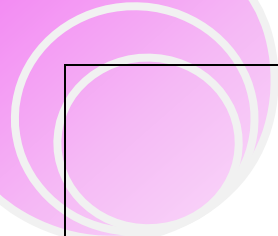
それも最初だけです。「見た目」以外の要素が、魅力的でなければ、時間と共に飽きられます。そういったことを、モテる男は、熟知しているんですね。

女性は男性と違って、長い時間をかけて、男性のことを好きになります。一方男性は、出会ってものの数秒で、女性を好きになる傾向があります。

- 男性は、**一気に**沸点に達する。
- 女性は、時間をかけて、**じわじわと**沸点に達する。

この両者の性質の違いを、押さえておいて下さい。

顔の作りに自信がなくても、それ以外の要素で、いくらでもカバーできます。そのことを、覚えておいてくださいね。



Winning The hearts Contents

特徴 8. 面白いギャクを言えば、 モテると思っている

これも、かなり誤った理解として蔓延している傾向にあるように思います。

“ユーモアがある男性がモテる”

そう一般的に言われていますね。僕も、そう思います。
しかし、

“ユーモアがある＝ギャクのセンスがある”

ではありません。

飲み会などで、面白いことを言って、周りを笑わせて楽しませる人がいますが、彼らが女性たちに、男を感じさせているのか？と言えば、そうではありません。

モテない男は、「モテる人＝人気者」と単純に思っていますから、自分もギャグを言って人気者になろうとしますが、滑ってしまい、かえって周りを凍らせてしまいます。だけれども、「理想に近づくんだ！」と躍起になって、またギャグを言う、という負のループに嵌ってしまっています。

しかし、その人は気づくべきです。

ギャグを言って周りを笑わせても、それがイコール、

女性に男を感じさせるわけでない

ということを。

「では、ユーモアのある人とは、どんな男？」

と、疑問を持つと思います。

僕が考える、ユーモアのある男性とは、

“ネガティブに思われる出来事を、
いかに**ポジティブに解釈**できるか？”

というセンスの力を持った男性だと思っています。

例えば、同じ飲み会の例で話すと、女性が、お手洗いを済ませるために、席を立とうとした時、うっかりオナラが出てしまったとしますね。この時に、

「大丈夫だよ。気にしないで^^」

と、真面目にフォローしてしまうと、オナラをした事

実をそのまま解釈しているので、かえって女性を恥ずかしい気持ちにさせてしまいます。そうではなく、

「おお、イエーイ！(・∀・)b」

と、何だか分からないけど、楽しいテンションでカバーしてあげると、女性は

「気を使ってくれた…（ちょっと嬉しいかも）」

となりやすいです。恥ずかしいという気持ちも、かなり軽減しますよね。

これは飲み会の席の例なので、言葉を越えたテンションの部分でカバーしちゃってる話ですが、スターバックスなどのカフェの例だったら、「ドリップコーヒー」の注文だったのに、店員の女性が誤って「アメリカーノ」を出しちゃったとしますね。

「ドリップコーヒーを頼んだんですが…（苦笑）」

「申し訳ございませんっ！入れ直しますね(+o+)」

「あ、でも、いいですよ。いつもドリップコーヒーばかりでちょっと飽きてたんです。違うコーヒー飲んで、アイデアも浮かびそうですし^^」

店員がミスした「ネガティブ」を、自分が「ポジティブ」に解釈し、精神的なフォローをしています。こうした意味の、「楽しい人」になれると、女性からかなり好かれるようになります。

こうした態度は、いかに毎日をポジティブな気持ちで生きているか？で養われるものだと思っています。

特徴 9 . 美人女性を**神格化**している

モテない男は、美人女性のことを、どこか神格化している傾向にあります。美しい容姿の女性には、悩みがないとか、汚い部分はない、とか。

まるで、「女神」みたいに、自分とは違う異次元の存在のように捉えているんですね。でも、実際のところ、そんなことはありません。

知ってますか？

美人女性って、美意識が高いですから、毎日のようにハイヒールを履いています。すると、どうなるか？

足の裏は、「魚の目」でいっぱいになるんですね。さら

に、そのハイヒール。ちゃんと足の裏のクサイ臭いがします。(笑)

このように、彼女たちが生きる現実も、僕たちと大して変わりません。そして、僕らと同じように、悩み苦しみます。

人は、理想と現実とのギャップにより、苦しみを感じます。

生物学的な話として、男性の場合、街で美女を見かける度に、「あの女性とセックスしたい！」と本能的に考えます。しかし、実際にそれを実行できるのか？と言えば、ほぼできないですね。理想と現実のギャップに苦しむわけです。

しかし女性の場合は、その逆です。

女性は、ある程度、子供を出産できる年齢が決まっています。時間の限りがあるわけですね。すると、付き合う男性を選ぶことにも、慎重になります。

しかし、世の中の 99%の男が、モテない男ですから、その出逢いの少なさに、嘆いているのが、現実です。

✓ 時間の限りがある…

✓ できれば、早く理想の男性と出逢いたい…

✓ でも、なかなか出逢えない…

そんな葛藤に、女性はいつも頭を悩ませています。

こうした見方からも、1%の魅力的な男は、美人女性にとっては、本当に魅力的です。自分の悩みを吹き飛ばしてくれる、貴重な存在だから、ですね。

だから、**1%の魅力的な男を目指す。**

これが、結果的に、あなたの悩みも、あなたが欲しい
と思っている美女の悩みも、同時に解決することに繋
がります。お互いが求め合う、相思相愛の関係になれ
るんですね。

“どうやって、口説くか？”

では、ありません。

“どう、魅力を高めるか？”

ここに、考え方をシフトしてください。

特徴 10.

こんな俺を受け入れてくれ マインドでいる

この思考は、少し問題です。

「何が？」と言えば、もうこれまで、散々話してきたことなので、お分かりですよね？

...

「魅力のない、こんな俺を受け入れてくれ…」

と、女性に言っていること。これが、問題なのです。

レベルの高い美女を落とすためには、「魅力」がどうし

ても必要になります。

「では、どうしたら魅力を手に入れることができるの?!」

という部分は、これからみっちり体系的にお伝えしていきますので、そこでお伝えするワークをこなして頂ければ、大丈夫です。安心していてください。

§ 1%の魅力的な男と、 99%のモテない男の 最大の違いとは？

本質的な話をします。

世の中を見てみると、明らかに、魅力的な男と、そうでない男がいます。その本質的な違いは何なのか？という問いについて考えてみます。

...

この両者は、表面的な態度だけ見ても、明らかな違いがあります。それは、

10人中、10人が「かわいい」「美人」だと思う女性を

目の前にしても、

✓ブレるか？

✓ブレないか？

の違いです。

魅力的な男は、どんなに美しい女性を目の前にしても、決してブレません。一方、モテない男は、ブレブレです。

✓ 鼻の下を伸ばす

✓ ニヤニヤする

✓ デレデレする

✓ 見た目の誉め言葉を言って、気を引こうとする

...

挙げれば、キリがありません。

彼女たちは、サービス精神があるので、そんな男性も楽しませようとしませんが、基本的に、男としては、全く相手にしていません。ここに気づいていないから、いつまで経っても何も変わらないのです。

しかし魅力的な男は、ブレずに、美女の前でも、一貫した態度を取ります。ショップ店員に接客されている場合、若くてイケイケの美人店員であっても、そうでない店員であっても、「女性に対する態度」は、変わりません。そこに、彼らの魅力というか、強さを感じ取ることができます。

レポートの冒頭でも言ったように、僕たち男は、「性欲」が強い生き物です。性的に魅力的な女性を見たら、「今すぐにでもセックスしたい！」と強烈に思うのが、男というものです。

しかし、魅力的な男は、この本能に流されません。その強さは、彼ら自身が持っている、「生き方」や「信念」から湧き上がるものです。美しい女性であればあるほど、下半身の欲望に飲み込まれない、自分の生き方を持った、強い男性を見極める力を持っています。なぜか？

“自分の美貌にデレデレになるか、ならないか？”

という、美女だからこそその視点が、彼女たちにはあるからです。

そうです。

僕らは、常に彼女たちに、男としてのレベルの高さを試されています。まずは、その自覚を持つことですね。そこから、「性欲」の本能に流されない強さを獲得していく訓練を積む必要性に気づき、訓練を積んでいくこ

とができます。

では、どうすれば、そんなクソ生意気な彼女たちを圧倒し、むしろこちら側に彼女たちに惹きつけ、惚れさせることができるのか？

...

そこについては、次回に譲ろうかと思います。

§ 人は、自分よりも レベルの高い人と 付き合いたいと思っている

これは、人が持つ「生存本能」です。

「この人と一緒にいれば、自分の生存確率が上がる」

そう判断できる人と、人は付き合いたいと思っています。
女性の場合、特にこの本能が強いです。

だから、狙った美人女性に、「私よりも、レベルが高いわ」と思わせるぐらいにならないと、いけないというわけです。

全ては、女性を惹きつける魅力に繋がる話です。

その魅力の身につけ方については、
次回、話していきます。

今回は、「魅力」を手に入れることの重要性について、
話させて頂きました。それを理解として府に落として
頂ければ十分です。

ではでは、今回はこの辺で。

ありがとうございました。

To be continued...

高橋りょう